



湘南海岸砂防林への農薬散布の中止を 求める意見書提出についての陳情



【陳情理由】

私たちは、藤沢市公園課へ出向き市内公園の松の木の管理について聞きました。市の答えは、市の公園には、一切農薬は散布していない。定期的にも農薬散布は行っていないとの返答でした。問題があったらその時そのものに対してのみ何らかの方法で解決を図るとの事で正に農水省、環境省の通達どおりの管理方法を行なっていると感じました。公園課は、藤沢市は特に南地域は松がとて多い地域と話しておりました。しかし、農薬管理はしていないのです。私たちは、鵜沼の海に近い所に住んでおりますが改めて周辺の松の木を観察しますと、その見事な立派な力強い松の木に驚きました。私たちの家に近い鵜沼松が岡公園には松の、歴史の経た大木が、なんと150本以上そびえているのです。海に近い境川沿いにも松は多い。ここにある下藤ヶ谷公園には70本ほどの松が天をつく勢いでそびえています。威厳を感じます。松枯れ現象も見かけません。農薬散布は取り返しのつかないリスクを与えています。虫たち、土中の微生物、蜂、鳥、昆虫、生きとし生きるものすべての命を奪い、人、子供達(発達障害、ガン、認知症等)に、取り返しのつかない重要な健康被害、精神被害を与えています。子供たち、私たちの命に係わる損失は計り知れません。研究者、医師が警告を発しています。住民の申し立てで中止した市町村も多いのです。ネオニコチノイド農薬は、破滅的毒性を秘めている。今までの有機リン系農薬よりさらに恐ろしい農薬にシフトしてしまった...と農薬研究者は声を震わせています。(船瀬俊介著書より)

レイチエル・カーソン「春がきたが、沈黙の春だった。今は物音ひとつしない。野原、森、沼地、皆黙りこくっている」は、沈黙の春(1962年出版)にて農薬殺虫剤や除草剤といった化学薬品が、どれほど自然を破壊し、人体を蝕むかを警告したのです。当時の農薬(あの時はDDTだった)ニコソン大統領によってDDTは使用禁止されました。ネオニコチノイドは、脳神経に作用する農薬です。日本では子供たちの発達障害が急増しています。異変が起こっているのです。藤沢市内の特別支援教室教育を受けている児童生徒数も急増しています。ネオニコチノイド系の農薬は、散布場所から4キロ範囲へ影響が広がることが分かっています。

この範囲には多くの小中学校、幼稚園があります。海沿いだけでも、鵜沼小学校、湘洋中学校、鵜沼小中学校、片瀬小中学校、湘南学園幼小中高校、湘南白百合学園幼小中高校、他多数あり書ききれません。

国の農水省、環境省は、森林における害虫防除農薬散布については、農薬散布を廃止するよう通達を出していますが、散布をおこなっている神奈川県藤沢土木事務所では、この通達を知りませんでした。(私たちは2月3日事務所の部長以下2名と面談)。農水省、環境省さらに指導徹底をはかるため文科省、厚労省などからも同様の指導通知が出されました。

脳神経学者黒田洋一郎氏は「使用しているネオニコチノイド農薬は子供の脳への神経毒性があるのです。子供の脳を守るためにネオニコチノイド散布を避けることは大切なことなのです。」と語っている。

前橋市の内科小児科医院 医師青山美子氏は、「最近のうつ、引きこもり、自殺の急増の背景に、ネオニコチノイドの影響の可能性がある」と指摘している。海外の研究者からは「日本はなぜ次世代を犠牲にしてネオニコチノイドの人体実験を続けているのか」と聞かれるといいます。

環境問題の上でも、安易に利用された大量の化学物質は土を汚染し海洋を汚染し、海水の温度を上げ地球温暖化を進めています。新型コロナウイルスの発生は農薬や除草剤を安易に使用してきたことよっての地球体の免疫の低下も指摘されています。

松本市にて、森林へのネオニコチノイド散布中止をさせた松本市在住弁護士 山根二郎氏は、「7年間散布されてきたが効果がなかったと断言している。松本へ見に来て下さい。現場に案内します。効果がないことを証明できます。」と語っている。松本市の山根二郎氏のもとへ視察に行ってください。山根二郎氏はこの問題に専門的に係わってきました。その結果、効果がないことが分かったのです。

ネオニコチノイドはEUでは、散布どころか野菜にまくのも禁止規制されてきているのです。日本は野放し状態です。それを学校人家の多い湘南海岸一帯に散布しているのです。

【陳情項目】

環境省、農水省、文科省、厚労省は「住宅地に近い森林における病害虫防除については定期的に農薬を散布することを廃し、被害が発生した場合に被害を受けた部分の剪定や捕殺等により防除を行なうよう最大限努めること。」このように指導通達している。

この通知通達を真摯に受け止め、湘南海岸砂防林への農薬散布は行なわないよう、神奈川県に対して意見書を提出し働きかけをしてください。

藤沢市議会 議長 佐賀 和樹 様

2022年2月10日

住所 藤沢市鶴沼松が岡4-8-21

湘南海岸砂防林への農薬散布の中止を求める会 代表 伊藤直子

